

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和5年 7月 10日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県高島市マキノ町中庄464番地

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
株式会社 平安製作所  
代表取締役社長 前田 昭宏

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、 [ 事業者行動計画を策定 (変更) ] したので、提出します。  
[ 事業者行動報告書を作成 ]

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社 平安製作所 代表取締役社長 前田 昭宏
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県高島市マキノ町中庄464番地

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社 平安製作所					
事業所の所在地	滋賀県高島市マキノ町中庄464番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 自動車部品 付属品製造業
事業の概要	自動車部品を主に、板金プレス・溶接・組立・塗装などの加工					
従業員の数	130	人	作業時間	16	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	15	台
	コンプレッサ	7	台	空気調和設備	80	台
				照明設備	230	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2020	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了年度	2022	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

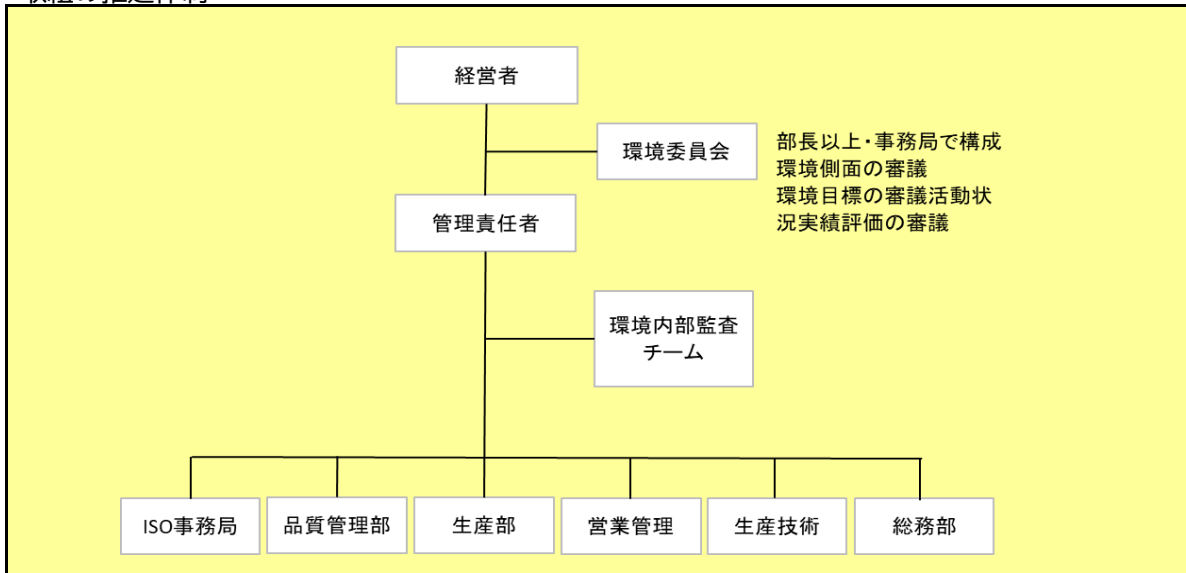
1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境方針

地球の環境保全が人類共通の重要課題であることを認識し、企業活動のすべての面で環境保全に努めます。

1. 環境マネジメントシステムを効果的に運用して、継続的に改善を行い環境負荷軽減・汚染防止並びに地域とのコミュニケーションを大切にして環境保全に努めます。
2. 環境法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 環境保全の為、次の事項を優先し取り組みます。そのための目標を明確に設定し推進します。またその目標を見直しします。
  - ①工場排水の水質維持・水質汚濁の防止
  - ②工場騒音の軽減
  - ③省資源・省エネルギーの推進
  - ④廃棄物の縮減・リサイクルの確実化
4. この方針は全従業員に周知徹底します。また、要求があったときは、社外へも公開します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- コンプレッサーの電力量削減について、工場圧縮空気漏れの防止活動を実施
- 工場間エアー配管をループ化し圧力の均一化を実施 夜間停止している工場へは、閉止する
- 工場内の照明を昼間休憩時には消灯を実施
- 工場内の水銀灯の廃止 LEDランプに切り替え
- 蛍光灯を廃止しLEDランプに切り替え 故障時順次実施
- 事務所の空調設備を室温条件により使用制限 冷房時 室温30℃以上時28度以上の設定  
暖房時 室温14℃以下時20度以下の設定
- 蒸気ボイラー給水温度の排熱利用により予備昇温システムを導入
- 生産性の高い設備の導入(新工場)し、電気消費量の高い設備を停止
- 電力節減として従業員の上用エレベーターの使用制限 必要時のみ運転
- 貨物用昇降設備の運転台数を2台→1台を停止

## (第2面)

## 4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	冷房時の使用開始室温の温度設定をルール化し運用を行う	2020年度より	継続
2	運用改善	工場内圧縮空気の漏れロス防止活動を全員で実施「気付けば、即直す」	2020年度より	継続
3	運用改善	工場圧縮空気の均圧化によるロスの低減	2020年度より	継続
4	運用改善	工場稼働停止時 ループ配管バルブを閉止 ロスをなくす	2020年度より	継続
5	運用改善	電力使用状況に適した契約電力の見直し	2020年度より	継続

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

## (3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>(1)の取り組みにより、平成23年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>原単位 温室効果ガス排出量 / 総稼働時間 で毎年5%削減</p> <p>原単位の考え方 温室効果ガス排出量は、製品の生産量に大きく影響を受ける為、生産にかかる工数を原単位の指標(母数)として設定しました。</p>	<p>2022年はコロナによる客先の工場停止や挽回生産による短期的な受注量増加により効率的な生産が出来なかった。</p>

## (4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		( 2 )年度	( 3 )年度	( 4 )年度	( )年度	( )年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,716	1,629	1,789	1,654		
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	4,398	2,606	2,911	3,618		
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	4,398	2,606	2,911	3,618		
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移		0.005410	0.005013	0.005896	0.005627		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	PPA事業の活用による太陽光設置検討
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
自動車向けエンジン・トランスミッション部品の軽量化による低炭素社会づくりへの貢献 従来部品を見直し 板金プレス化による軽量化部品をメーカーに提案、生産を行っております。	継続的に提案実施
	CO <sub>2</sub> 削減貢献量
	t-CO <sub>2</sub>

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
目標： 軽量化製品の生産を通じて従来品の50%の二酸化炭素排出減に貢献する。  考え方： 従来部品の生産に係る電力、燃料使用量と板金プレス化による部品生産に係る電力、燃料を比較し導入された時の削減が貢献できる。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO<sub>2</sub>削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
従来からの製品については継続的に貢献できている。 新たな製品については受注がなく貢献できていない。
CO <sub>2</sub> 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>						
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh						
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>						
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>						
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	出張回数の 低減	Web会議を利用し不要な外出を控える	R3~	予定通り実施
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			( 2 )年	( 3 )年	( 4 )年度	( )年度	( )年度
保有車輛の数	台	6	6	6	6		
上記のうち 次世代自動車の数	台	1	1	1	1		
特記事項							

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	環境マネジメ ントシステム (EMS)	生産効率の向上に向けた改善取り組みを実施 総合効 率10%向上	2021年度~ 2023年度	継続
2				
3				
4				
5				